

11期 外国文化を楽しむ科

～え！そなん・ふしぎやね～



日時： 5月10日（水） 10時～12時
場所： 北大阪生涯学習センター
講師： ファビオ・サルヴァーニョ先生（イタリア文化協会講師）
内容： 「イタリアの歴史や文化、生活など」

1 「イタリアはどんな国なのか」、「どこから来たのか？」

- ・ 19世紀までイタリアという国はなく、オーストリア帝国、サルディニア王国、ローマ法王領、シチリア王国などに分立していた。
- ・ Cavour と Garibaldi イタリア統一の主役

2 イタリアでの宗教・日常生活・教育について



・私も写真のような衣装を着て教会に行ったり家をまわった。ただし、信仰心というよりはバイト感覚で。

・ La parrocchia（教区）

日本の檀家制度に似ているが少し違っている。たとえば、年2回、神父と子どもが家々をまわって家を清める行事があり、その時に神父は家庭の相談事に乗ったりして人々の今の生活に深くかかわっている。それに比べ、日本では、お坊さんがお盆に檀家をまわるが、

死後のかかわりが多い。

- ・ イタリアでは、おもてなしの心からメイン料理の前にパンを出す。日本のある家庭によばれにいった際に、パンを持参してみんなに配ったら、後でホストから余計なことをしてと怒られた。前日から準備したのにパンでお腹が膨れて台無しになったと。文化の違いに面食らった。
- ・ 食事中に政治や経済など共通の話題を取り上げていいけれど討論にならないように。
- ・ パスタソースはよくはねるので、子どもの頃エブロンを落とさない練習をよくさせられた。
- ・ イギリス人の話として、イタリア人はサッカーを観る時は戦争をしているようにみえるが、戦争の時はサッカーをしてるみたいだと。

3 産業・政治・戦争について

- ・ 北部は工業が発達、南部は主に農業

4 教育・子どもの生活

- ・ EUにはエラスムス制があり、若者は他国に無料で留学でき、見聞を広めることができる。

5 イタリアの今後は・・・

若者は EU に入って良かったと思っている人が多いが、年長者は脱退したいと思っている
・スパゲッティにはスプーンを使いますか?の質問に、僕のおじいさんはスプーンとフォークで食べていましたなどと、30年以上日本で暮らしているイタリ人独自の視点からユーモアたっぷりの楽しい授業でした。

(午後)

- ・ラジオ体操と授業の振り返り
- ・ふれあい交流会について、実行委員の決定
(杉田さん、サブで浅川さん)
- ・郊外学習について
(7月5日、大阪起業家ミュージアム訪問、
大阪市本町)



(1班広報担当)